

2015年3月期第2四半期連結決算報告 (2014年4月1日～2014年9月30日)

- 第2四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 個別開示項目において、一過性の要因による収益を計上
- 通期業績見直しは変更なし

第2四半期の業績は前年より改善

- グループ売上は、3,095億円の前年比2%増収（前年同期3,022億円）
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は、固定費の削減による効果を反映し103億円（前年同期92億円）
- 建築用ガラス事業は、売上1,239億円（前年同期1,195億円）、営業利益57億円（前年同期44億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上1,557億円（前年同期1,521億円）、営業利益39億円（前年同期46億円）
- 高機能ガラス事業は、売上292億円（前年同期301億円）、営業利益24億円（前年同期30億円）
- コスト削減効果は想定通りに発現

市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在

- 欧州建築用ガラス市場は安定的
- 欧州域内の乗用車販売台数は前年と同様の水準。当社の補修（AGR）用ガラスは暖冬の影響により数量減
- 日本では、建築市場が消費税増税の影響を受け数量減。自動車市場は、需要が堅調。全ての事業で投入コスト上昇の影響あり
- 北米では、建築用ガラス市場は堅調。自動車市場も引き続き改善
- その他地域では、建築用ガラス市場において東南アジアで需要レベルが増加。南米では自動車用ガラス市場低調
- 高機能ガラス市場は、第1四半期と同様の水準

個別開示項目において、一過性の要因による収益を計上

- 当社グループのShanghai Yaohua Pilkington Glass Group Co., Ltd（SYP社）のマネジメントに対する関与の度合いが減少したことにより、SYP社に対する出資持分を売却可能金融資産に分類変更を行った結果、133億円の収益を計上（従来は、持分法で会計処理される投資）
- 兵庫県伊丹市所在の土地について、セール・アンド・リースバック取引を実施した結果、45億円の収益を計上
- 残存しているリストラクチャリング費用42億円を計上

<2015年3月期第2四半期連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 4月-9月期	14年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	3,095	3,022	2%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益 償却費*	103 (42)	92 (43)	
個別開示項目前営業利益	61	49	
個別開示項目	132	(60)	
営業利益(損失)	193	(11)	
金融費用(純額)	(94)	(94)	
持分法による投資利益	4	4	
税引前利益(損失)	103	(101)	
当期利益(損失)	79	(105)	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	75	(111)	
EBITDA	265	252	5%

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
**為替変動を除くと0%

収益性がさらに改善

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告